

2021年6月11日  
株式会社 山梨中央銀行

## VR クラウドソフト「スペースリー」を活用した VR 研修を実施しました

株式会社山梨中央銀行（頭取 関 光良）は、株式会社スペースリー（代表取締役 森田 博和）が提供するVRクラウドソフト「スペースリー」（※）を活用し、当行の新入行員を対象にVR研修を実施しました。

当行は、中期経営計画「Value+ 2022」の基本戦略の一つに「人材活力向上」を掲げ、その取組みの一環として、行員向けの研修の効率化を図る中で、より高度な人材育成につながる研修を実施しております。

また、社会や産業全体のデジタル化が急速に進展していく中で、金融機関としても VR など ICT の最新技術について、研究・開発を進めているところです。

それらの施策の一環として、ATM に関するオペレーションなどを習得するための VR コンテンツを制作し、新入行員への研修を実施しました。

当行は、今後も同社と連携してさまざまな VR コンテンツを制作し、行員のスキル向上などを図るとともに、デジタルトランスフォーメーション（DX）に関する知見などを地域へ還元することで、お客さまの生産性向上やデジタル技術の活用を支援し、地域の持続的発展へつなげてまいります。

（※）360°写真や動画を使った高品質な VR コンテンツを制作、編集できるクラウドソフト。ユーザーがさまざまなシナリオやクイズなどを設定して VR コンテンツを制作することが可能。

### 【研修の概要】

新入行員を対象に実施しているATMに関するオペレーション研修については、利用できるATMの台数が限られており、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、十分な研修が実施できませんでした。

当行は、「スペースリー」を活用し、360°VR空間上にテキストや画像、動画などを表示させて、ATMのオペレーションの手順を体感できるVRコンテンツを制作しました。

本コンテンツを、新入行員のパソコンに配信することで、実際に現場へ行くことなく、ATMのオペレーションを仮想体験できる研修を実現しました。

新入行員からは、実際に現場でATMを操作するようなリアルな体験ができ、ゲーム感覚で楽しく手順を覚えられるなど、満足度や理解度などにおいて8割を超えるポジティブな評価を得られました。

また、パソコンへの配信により、いつでもどこでも体験できるため、コロナ禍での3密を避けなければならない環境の中でも、クオリティの高いVR研修の有効性を示すことができました。



以上